

## ビトリナイト反射率からみた房総半島南部江見層群の埋没深度

Vitrinite reflectance data and its tectonic implication from the Emi Group in the southern part of the Boso Peninsula

# 向吉 秀樹[1]; 廣野 哲朗[2]; 山本 由弦[3]

# Hideki Mukoyoshi[1]; Tetsuro Hirono[2]; Yuzuru Yamamoto[3]

[1] 高知大・理・地学; [2] JAMSTEC; [3] 静岡大・理

[1] Geology, Kochi Univ; [2] JAMSTEC; [3] Inst. Geosciences Shizuoka Univ.

mukoyoshi@jamstec.go.jp

房総半島南部に位置する江見層群より炭質物を採取し、ビトリナイト反射率( $R_o$ )の測定をおこなった。その結果、 $R_o$  はほぼ 0.2 から 0.4 の間の値を示した。現在の南海トラフの地温勾配 40-50 /km を仮定すると、この値は埋没深度約 1km またはそれ以浅になる。この熱履歴は、堆積および変形構造の解析から推測された比較的浅い埋没深度であることを直接的に証明するものである。